

令和元年度
町内会意識調査 報告書

犬山市

令和2年3月

【調査概要】

- 1 調査の目的 町内会活動の中心となる町会長の視点から見た、地域の現状や課題、前回（平成21年4月）調査時からの意識の変化を把握し、施策に反映することを目的とします。
- 2 調査の対象 犬山市内の町内会
- 3 調査項目・内容と活用方法

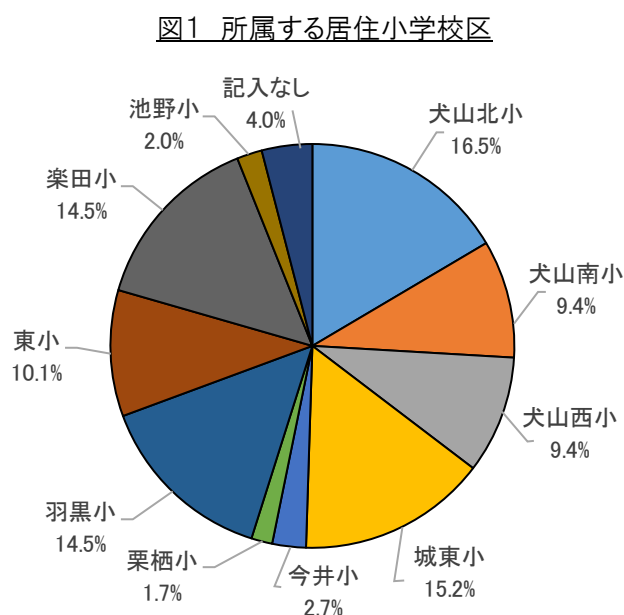
調査項目	調査内容
地域属性	活動地域、現在の活動内容を把握します
活動上の問題点	町内会活動における問題点を把握します。
地域の問題点・課題	町内会から見た地域の問題点・課題を把握します。
協働のまちづくりに対する意向	町内会等の地域組織との協働の可能性を把握します。
市に期待する支援	町内会活動の充実・活性化のために必要な支援策を把握します。
活動の地域単位	今後の町内会等の活動単位（小学校区など）のあり方についての意向を把握します。
集会所について	集会所の現状と意向について把握します。
広報について	市広報について、発行・配布方法についての意向を把握します。
コミュニティバスについて	市コミュニティバスについての意見を聴取します。
自由意見	まちづくりに関する自由な意見・提案を聴取します。

- 4 調査方法 アンケートを郵送により配布・町会長会会場での回収
- 5 調査期間 令和元年11月1日（金）～12月14日（土）
- 6 回収状況 配布数 317 回収数 297
回収率 93.7%

※平成21年4月に第5次総合計画策定に向けて、町会長を対象に同様の調査を行っています。前回調査と同じ項目には、前回数値を掲載しています。

設問1 貴町内会が所属する地域についてお答えください。

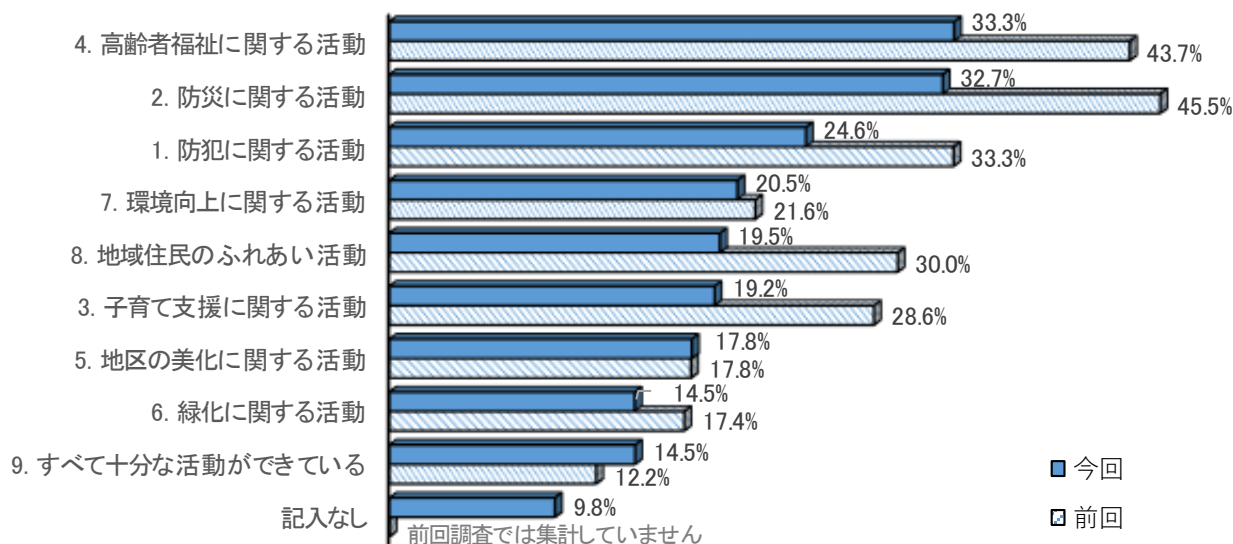
選択肢	回答数	割合
1 犬山北小学校区	49	16.5%
2 犬山南小学校区	28	9.4%
3 犬山西小学校区	28	9.4%
4 城東小学校区	45	15.2%
5 今井小学校区	8	2.7%
6 栗栖小学校区	5	1.7%
7 羽黒小学校区	43	14.5%
8 東小学校区	30	10.1%
9 楽田小学校区	43	14.5%
10 池野小学校区	6	2.0%
記入なし	12	4.0%
	297	100%



設問2 貴町内会において、他の町内会や団体と合同で行っている取り組みも含め十分な取り組みができていないと思う活動はありますか。
〈あてはまるもの全てを回答〉

選 択 肢	回答数	割 合	前回割合
1 防犯に関する活動	73	24.6%	33.3%
2 防災に関する活動	97	32.7%	45.5%
3 子育て支援に関する活動	57	19.2%	28.6%
4 高齢者福祉に関する活動	99	33.3%	43.7%
5 地区の美化に関する活動	53	17.8%	17.8%
6 緑化に関する活動	43	14.5%	17.4%
7 環境向上に関する活動	61	20.5%	21.6%
8 地域住民のふれあい活動	58	19.5%	30.0%
9 すべて十分な活動ができている	43	14.5%	12.2%
記入なし	29	9.8%	-

図2 十分な取り組みができていない活動



◆ 特徴的、独自の活動等を実施している町内の具体例 〈主なもの〉

- * 要支援者を把握し、有事の際に対応できるようにしている
- * 消防署員指導の下、防火訓練、AEDの取扱い方、心臓マッサージの訓練をしている
- * 2年に1度、町内会旅行を行っている
- * 厄除け祈願、年祝いに関する活動を行っている
- * 高齢者等から、ひとりではできないこと、不安なことの相談を聞き取り、手助けしている

前回調査から割合は減少したものの、「高齢者福祉に関する活動」と「防災に関する活動」が十分に取り組みできていないが上位となりました。

校区別に見ても、ほとんどの小学校区で「高齢者福祉に関する活動」、「防災に関する活動」のいずれか、または両方について不十分であるとする回答が多かった一方で、城東小学校区、羽黒小学校区、楽田小学校区では「防犯活動」を挙げる町内会が多くありました。

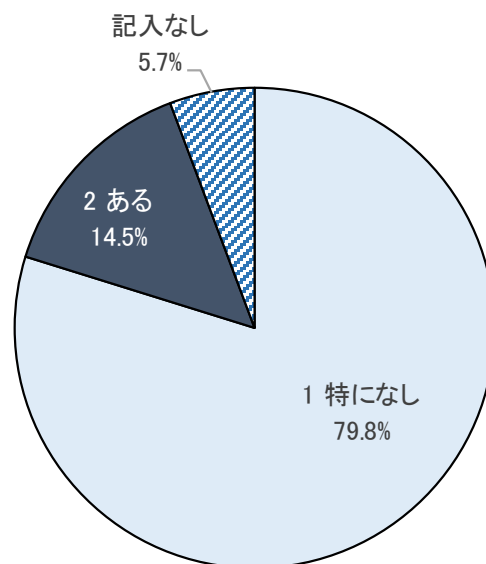
全体的な傾向として、十分な取り組みができていない、又は、活動に対する参加者不足が広がっていることが考えられます。

設問3 地域活動において、様々な地区割りが存在しますが、貴町内会において課題と感ずることはありますか。

〈ひとつに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合
1 特になし	237	79.8%
2 ある	43	14.5%
記入なし	17	5.7%
	297	100%

図3 地区割りについての課題の有無



◆ 「ある」と答えた方の課題〈主なもの〉

- * 住民減少や高齢化、役員のなり手不足
- * 2つのコミュニティ推進協議会に所属している
- * 地区全体で活動しているが、一部住民から町内単独で活動したいとの声もあり、地区内で過去から続く伝統行事が出来なくなる可能性もある。
- * 小学校区と行政地区が異なっている
- * 区割りがわかりづらい

約8割の町内会において「特になし」との回答であったため、地区割りに関して多くの課題はないと考えられます。

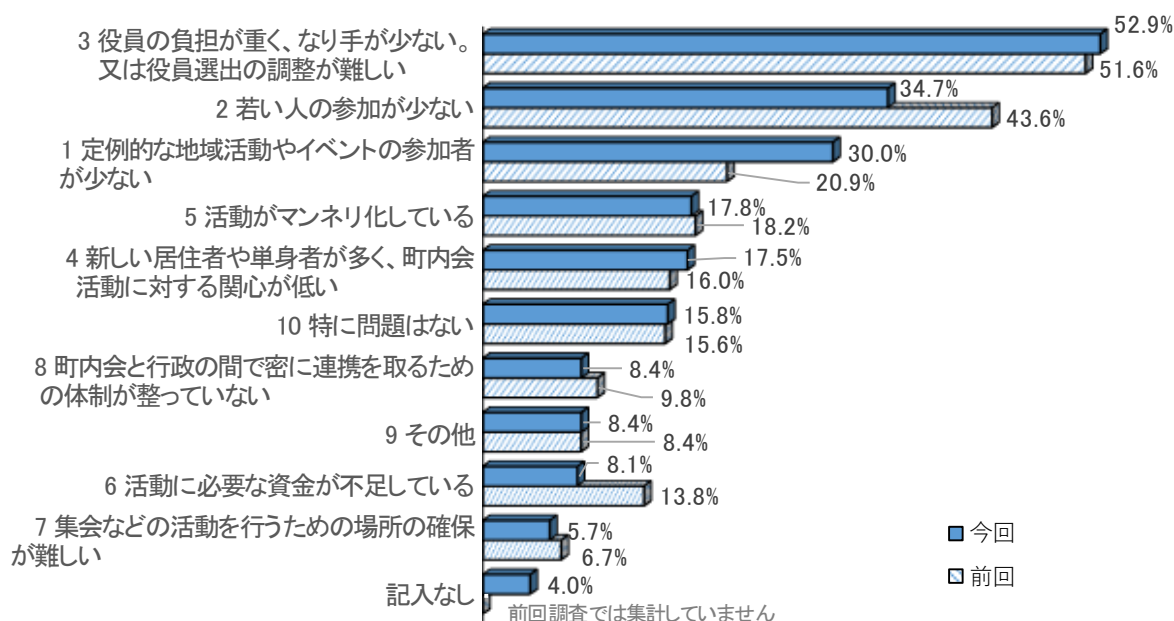
しかし、2つのコミュニティ推進協議会に所属しているや、「人口の減少、高齢化により、従来の地区割に不都合な点が目立つ」などの課題があるため、今後解決できるものについては、取り組んでいきます。

設問4 町内会の活動を行う上での、問題点はありますか。

〈主なもの3つに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合	前回割合
1 定例的な地域活動やイベントの参加者が少ない	89	30.0%	20.9%
2 若い人の参加が少ない	103	34.7%	43.6%
3 役員の負担が重く、なり手が少ない。又は役員選出の調整が難しい	157	52.9%	51.6%
4 新しい居住者や単身者が多く、町内会活動に対する関心が低い	52	17.5%	16.0%
5 活動がマンネリ化している	53	17.8%	18.2%
6 活動に必要な資金が不足している	24	8.1%	13.8%
7 集会などの活動を行うための場所の確保が難しい	17	5.7%	6.7%
8 町内会と行政の間で密に連携を取るための体制が整っていない	25	8.4%	9.8%
9 その他	25	8.4%	8.4%
10 特に問題はない	47	15.8%	15.6%
記入なし	12	4.0%	-

図4 町内活動を行う上での問題点



◆ 「その他」の回答〈主なもの〉

- * 現役世代はサラリーマンが多いため、休日出勤等もあり、町会長は負担が重すぎる
- * 集合住宅の入居者が若く、転勤等もあるせいか、町内会に対する関心は低い
- * 高齢化により、役員を辞退する人がいる
- * 町内会としての一体感がない
- * 町内会の必要性を感じる人が少なくなった

前回と同じく今回も、町内会での運営体制に関わる「役員の負担が重く、なり手が少ない。又は役員選出の調整が難しい」と回答した町内会が約半数あり、最も多い結果となりました。続いて多かった回答は、「若い人の参加が少ない」（34.7%）、「定例的な地域活動やイベントの参加者が少ない」（30.0%）で、いずれも活動に携わる人材に関する問題を抱えていることがわかります。

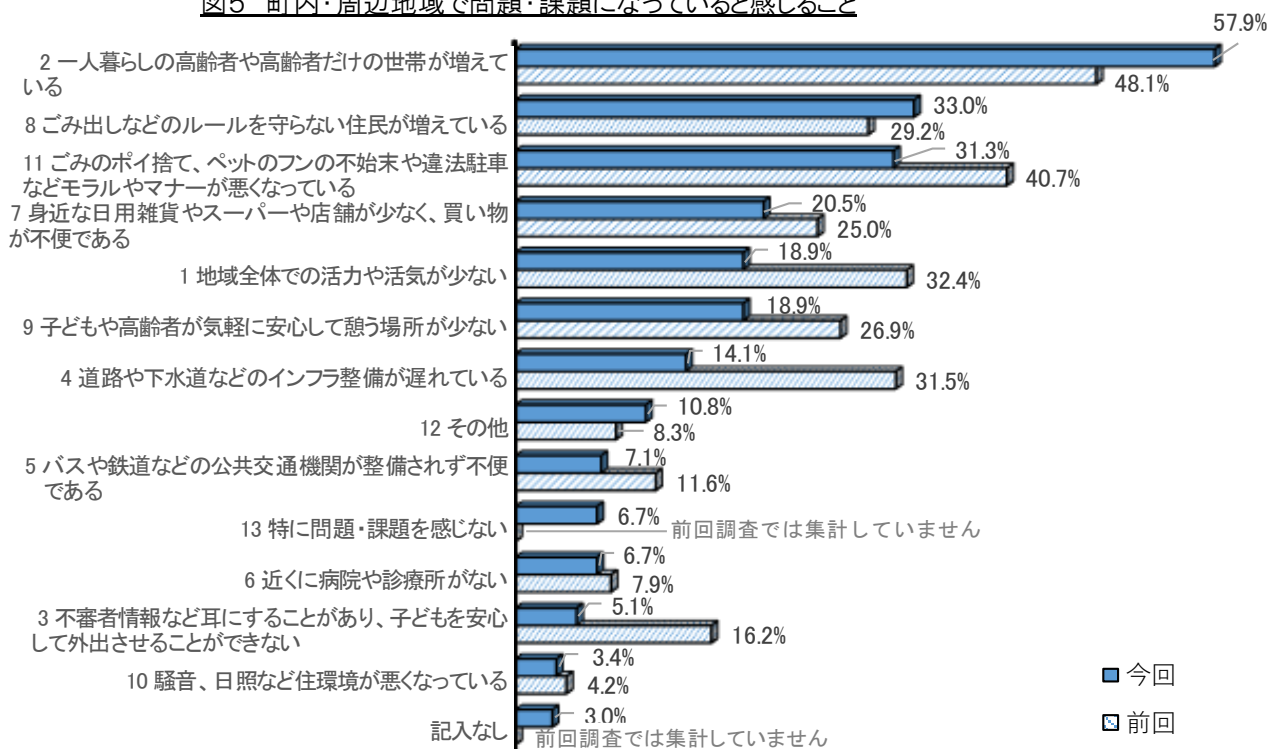
なお、この傾向はすべての校区で同様で、いずれの校区においても「役員の負担が重く、なり手が少ない。又は役員選出の調整が難しい」が問題点の最上位に挙げられています。

設問5 現在貴町内会や周辺地域で、問題・課題となっていると感じることは何ですか。

〈あてはまるものすべてに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合	前回割合
1 地域全体での活力や活気が少ない	56	18.9%	32.4%
2 一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増えている	172	57.9%	48.1%
3 不審者情報など耳にすることがあり、子どもを安心して外出させることができない	15	5.1%	16.2%
4 道路や下水道などのインフラ整備が遅れている	42	14.1%	31.5%
5 バスや鉄道などの公共交通機関が整備されず不便である	21	7.1%	11.6%
6 近くに病院や診療所がない	20	6.7%	7.9%
7 身近な日用雑貨やスーパーや店舗が少なく、買い物が不便である	61	20.5%	25.0%
8 ごみ出しなどのルールを守らない住民が増えている	98	33.0%	29.2%
9 子どもや高齢者が気軽に安心して憩う場所が少ない	56	18.9%	26.9%
10 騒音、日照など住環境が悪くなっている	10	3.4%	4.2%
11 ごみのポイ捨て、ペットのフンの不始末や違法駐車などモラルやマナーが悪くなっている	93	31.3%	40.7%
12 その他	32	10.8%	8.3%
13 特に問題・課題を感じない	20	6.7%	-
記入なし	9	3.0%	-

図5 町内・周辺地域で問題・課題になっていると感じること



◆ 「その他」の回答〈主なもの〉

- * 空き家が多くなり、野生動物がいて困っている
- * ごみ出しで出し方や時間等ルールを守らない人がある
- * 高齢者が買い物できず困っている

前回と同じく今回も、「一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増えている」と回答した町内会が一番多く、割合も伸びており、全体の約6割でした。

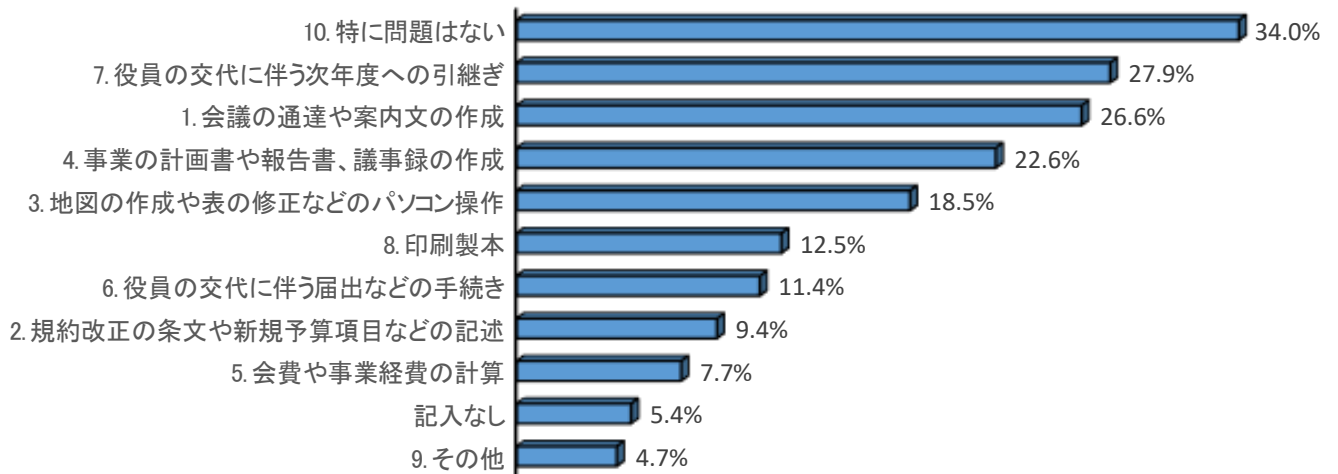
また、「ごみ出しなどのルールを守らない住民が増えている」(33.0%)、「ごみのポイ捨て、ペットのフンの不始末や違法駐車などモラルやマナーが悪くなっている」(31.3%)など、地区住民の日常生活に伴う行動に関する問題、課題を多くの町内会で抱えているのがわかります。

設問6 町内会活動に伴う事務作業について、特に負担と感じる事務はありますか。

〈主なもの3つに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合
1 会議の通達や案内文の作成	79	26.6%
2 規約改正の条文や新規予算項目などの記述	28	9.4%
3 地図の作成や表の修正などのパソコン操作	55	18.5%
4 事業の計画書や報告書、議事録の作成	67	22.6%
5 会費や事業経費の計算	23	7.7%
6 役員の交代に伴う届出などの手続き	34	11.4%
7 役員の交代に伴う次年度への引継ぎ	83	27.9%
8 印刷製本	37	12.5%
9 その他	14	4.7%
10 特に問題はない	101	34.0%
記入なし	16	5.4%

図6 町内会活動に伴い負担と感じる事務



◆ 「その他」の回答 〈主なもの〉

- * パソコンの操作ができない
- * 募金活動、交通安全活動
- * 事務作業が多い
- * 市役所との連絡が平日日中に限られている

「特に問題はない」と回答した町内会は、全体の約3割であり、その他の町内会では、負担を感じていることがわかります。

最も多かった回答は、「役員の交代に伴う次年度への引継ぎ」（27.9%）で、続いて書類作成等に関する事務となっています。

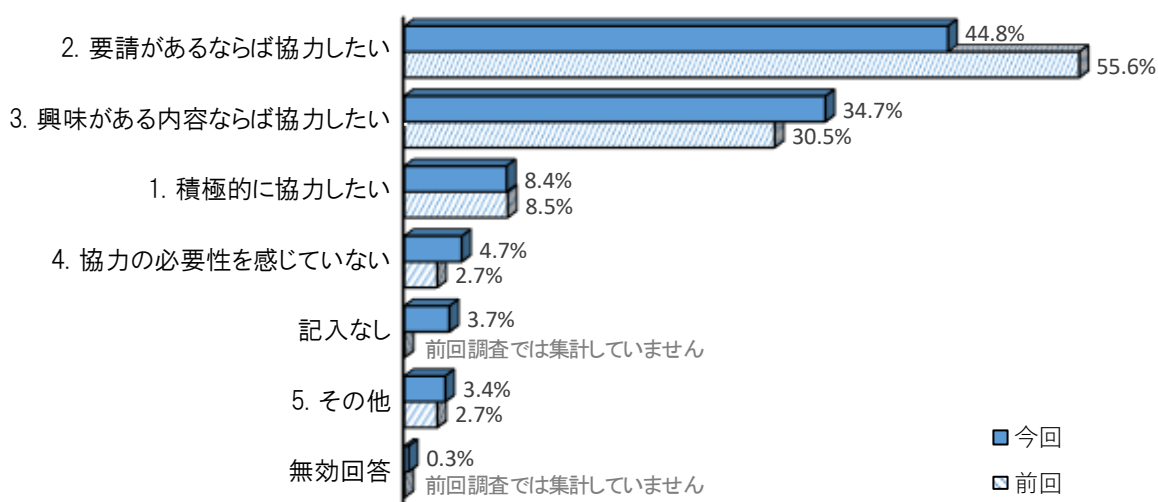
設問7 貴町内会では、今後行政と協働して地域活動を行うことについてどのようにお考えですか。

<ひとつに回答>

設問7-1
へ

選 択 肢	回答数	割 合	前回割合
1 積極的に協力したい	25	8.4%	8.5%
2 要請があるならば協力したい	133	44.8%	55.6%
3 興味がある内容ならば協力したい	103	34.7%	30.5%
4 協力の必要性を感じていない	14	4.7%	2.7%
5 その他	10	3.4%	2.7%
記入なし	11	3.7%	-
無効回答	1	0.3%	-
	297	100%	100%

図7 行政と協働して地域活動を行うことについてどう考えるか



◆ 「その他」の回答 <主なもの>

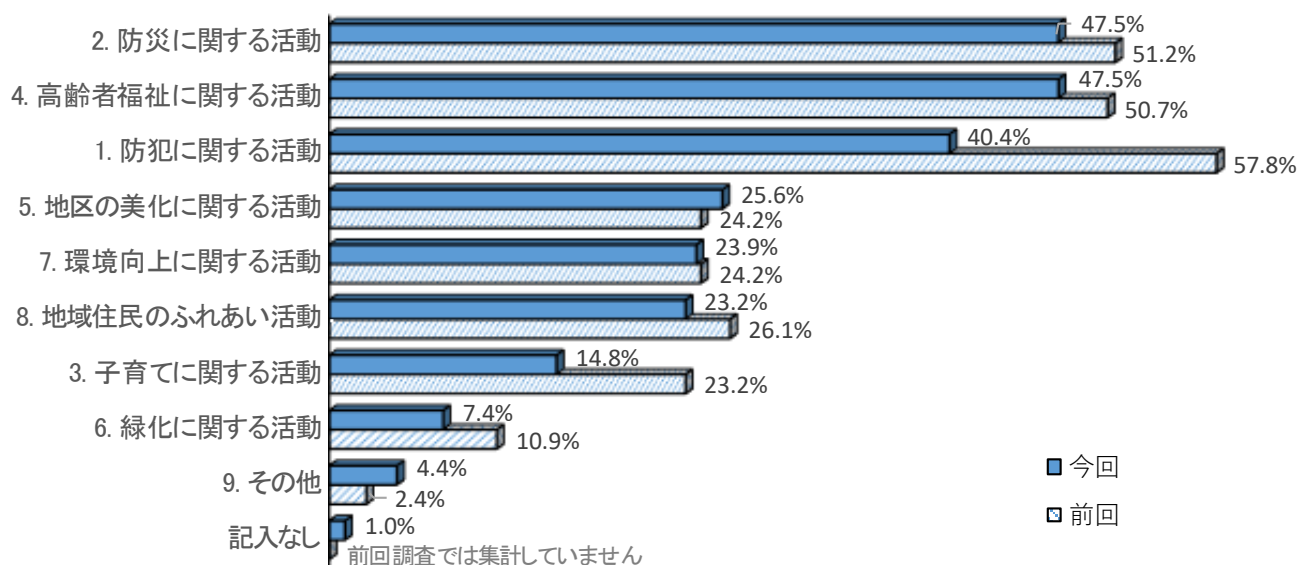
- * 町内会全体が高齢化して協力できない
- * 積極的に協力すべきと考えるが、現状の町内会の活力を鑑みると難しい
- * 地域として必要と感じられる内容であれば、積極的に協力したい

基本的に行政との協働に「賛成」と回答した町内会は、8割を超えています。ただし、前回の「賛成」9割からは減少しており、特に「要請があるならば協力したい」は約2割減少しています。逆に「興味がある内容ならば協力したい」は約1割増加しており、協力のあり方にも変化がみられます。また、「協力したいが、地域住民の高齢化や活動へ参加意欲の無さが問題」という意見もあり、高齢化や担い手不足の問題がかいまみられます。

設問 7-1 今後、行政と協働し特に「積極的に取り組むべきである」と思う地域活動の分野は何ですか。(設問 7 で 1、2、3 と答えた人のみ)
〈あてはまるものすべてに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合	前回割合
1 防犯に関する活動	120	40.4%	57.8%
2 防災に関する活動	141	47.5%	51.2%
3 子育てに関する活動	44	14.8%	23.2%
4 高齢者福祉に関する活動	141	47.5%	50.7%
5 地区の美化に関する活動	76	25.6%	24.2%
6 緑化に関する活動	22	7.4%	10.9%
7 環境向上に関する活動	71	23.9%	24.2%
8 地域住民のふれあい活動	69	23.2%	26.1%
9 その他	13	4.4%	2.4%
記入なし	3	1.0%	-

図7-1 特に「積極的に取り組むべきである」と思う分野



◆ 「その他」の回答〈主なもの〉

- * 外国の居住者が増加しているため、その方達とのコミュニケーション
- * 過疎化対策活動、小学生増加対策活動
- * いのしし対策

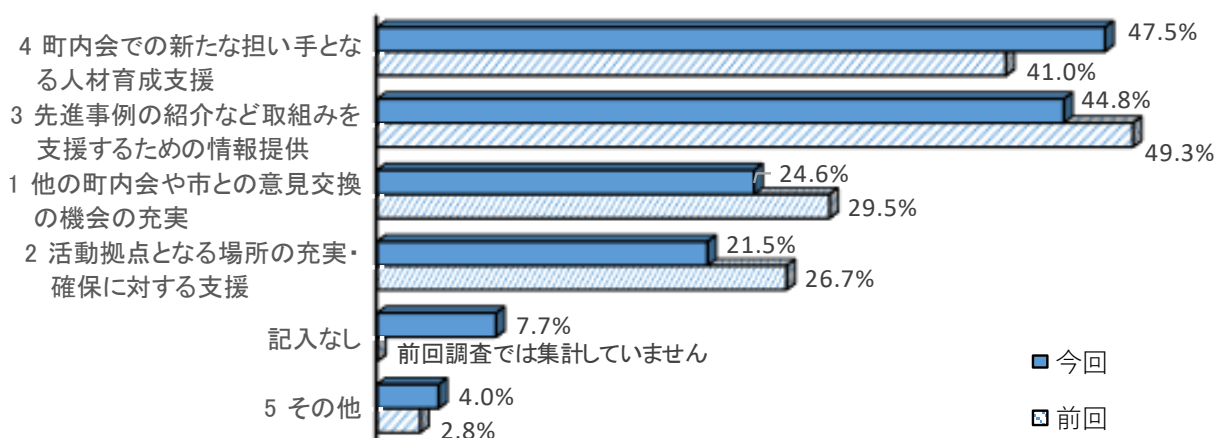
上位3つの「防災に関する活動」、「高齢者福祉に関する活動」、「防犯に関する活動」については、設問2「十分な取組みができていないと思う活動」の回答の上位と同様の選択肢でした。

回答した全ての町内会のうち、7割の町内会が、この3つのいずれかの活動について積極的に取り組むべきであると回答しています。

**設問8 今後の活動の充実、活性化のために、行政に期待する支援は何ですか。
〈あてはまるもの2つに回答〉**

選 択 肢	回答数	割 合	前回割合
1 他の町内会や市との意見交換の機会の充実	73	24.6%	29.5%
2 活動拠点となる場所の充実・確保に対する支援	64	21.5%	26.7%
3 先進事例の紹介など取組みを支援するための情報提供	133	44.8%	49.3%
4 町内会での新たな担い手となる人材育成支援	141	47.5%	41.0%
5 その他	12	4.0%	2.8%
記入なし	23	7.7%	-

図8 今後の活動の充実、活性化のために行政に期待する支援



◆ 「その他」の回答〈主なもの〉

- * 空き家対策、新しい住民の確保
- * 若年居住者を増やす支援
- * 町内会の半分以上が高齢者世帯で、取組みが難しい

「町内会での新たな担い手となる人材育成支援」を期待すると回答した町内会は、前回より15%程度増加しており、高齢化に伴う担い手不足に対する支援が求められていることがわかります。

また、楽田小学校区においては、「他の町内会や市との意見交換の機会の充実」が他の小学校区に比べ多い傾向でした。

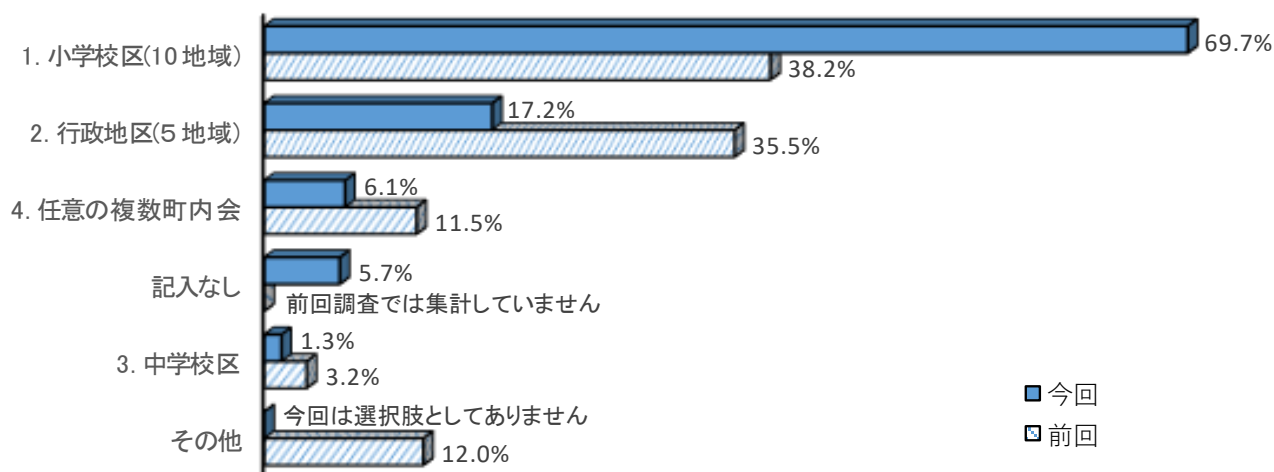
自由意見の中では、「新しい住民の確保」や「若年居住者を増やす支援」など、人口減少や高齢化に対する支援を求めている意見もありました。

設問9 地域活動を行う上で、活動の基本となる地域区分の考え方として、どのような『地域単位』を基本とすることが望ましいと思いますか。

〈ひとつに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合	前回割合
1 小学校区 [市内小学校の学区で区分する10の地域]	207	69.7%	38.2%
2 行政地区 [犬山・城東・羽黒・楽田・池野に区分する5つの地区]	51	17.2%	35.5%
3 中学校区 [市内中学校の学校区で区分する4つの地域]	4	1.3%	3.2%
4 任意の複数の町内会が集まった単位	18	6.1%	11.5%
(その他)※今回選択肢なし	0	-	12.0%
記入なし	11	5.7%	-

図9 地域活動の基本となるのが望ましい地域区分(単位)



前回の調査では、「小学校区（10地域）」又は、「行政地区（5地域）」と回答した町内会がほぼ同じ割合でしたが、今回の調査では「小学校区（10地域）」と回答した町内会が一番多く、全体の約7割という結果になりました。「小学校区（10地域）」は、前回から約1.8倍増加し、逆に「行政地区（5地域）」は、半減しており、「小学校区（10地域）」単位での活動が望ましいと考えている町内会が増加したことがわかります。

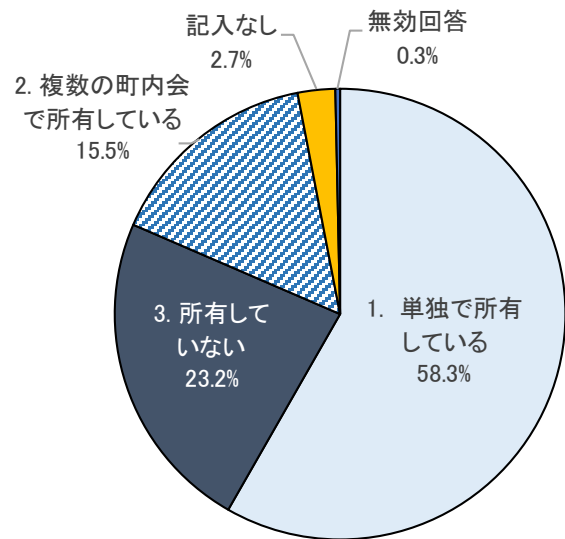
また、いずれの小学校区においても、「小学校区（10地域）」と回答した町内会は6割を超えています。

設問 10 貴町内会では、集会所を所有していますか。

<ひとつに回答>

選 択 肢	回 答 数	割 合
1 単独で所有している	173	58.3%
2 複数の町内会で所有している	46	15.5%
3 所有していない	69	23.2%
記入なし	8	2.7%
無効回答	1	0.3%
	297	100%

図10 集会所の所有について



設問 10-1 建築はいつ頃ですか。

設問 10-2 今後、集会所を改築・改修、修繕する予定はありますか。

(設問10で1または2と回答した方のみ)

<それぞれひとつに回答>

設問10-1 建築年代

選 択 肢	回 答 数	割 合
1 昭和	99	45.2%
2 平成	47	21.5%
3 わからない	69	31.5%
記入なし	4	1.8%
	219	100%

設問10-2 改築・改修・修理予定

選 択 肢	回 答 数	割 合
1 改築・建築の予定がある	9	4.1%
2 修理・修繕の予定がある	28	12.8%
3 改修・修理したいが、費用がない	44	20.1%
4 検討していない	131	59.8%
記入なし	7	3.2%
	219	100%

図10-1 集会所の建築年代

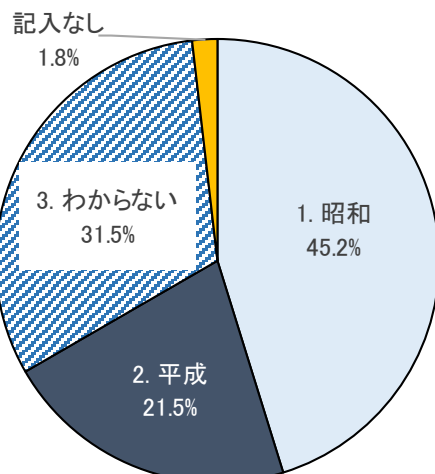
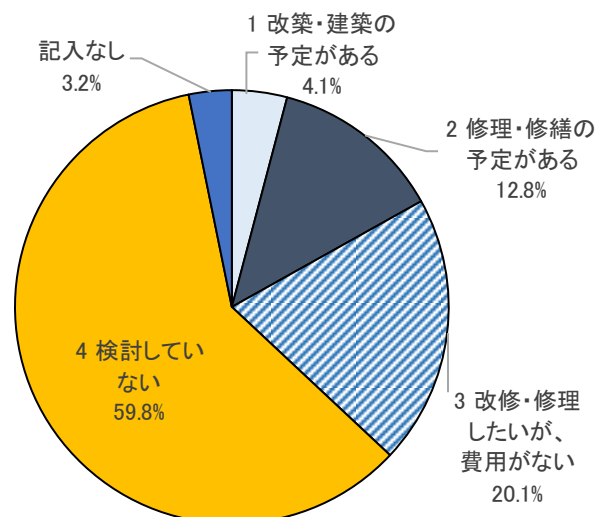


図10-2 集会所の改築・改修予定



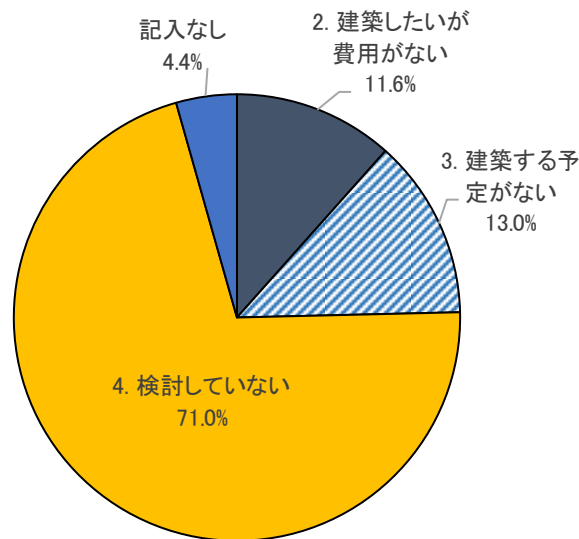
設問10-3 今後、集会所を建築する予定はありますか。

(設問10で3と答えた方のみ)

<ひとつに回答>

選 択 肢	回答数	割 合
1 建築予定がある	0	0.0%
2 建築したいが費用がない	8	11.6%
3 集会所が必要ないため、建築する予定がない	9	13.0%
4 検討していない	49	71.0%
記入なし	3	4.4%
	69	100

図10-3 今後の建築予定



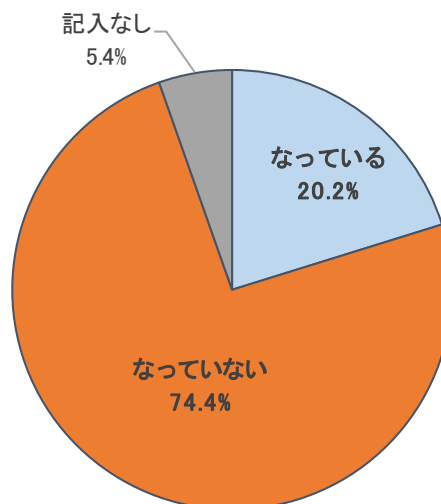
集会場は、「単独で所有している」と回答した町内会が、全体の約6割という結果でした。また、集会場を所有している町内会のうち、建築年が「昭和」と回答した町内会は約5割あり、設問10-2「今後、集会所を改築・改修、修繕する予定はありますか。」において、「改築・建築の予定がある」、「修理・修繕の予定がある」、「改修・修理したいが、費用がない」のいずれかを回答した町内会は全体の約4割であり、多くの町内会で集会所に問題を抱えていることがわかります。また、「改修・修理したいが、費用がない」が全体の約2割を占めており、金銭面の課題を抱えている町内会も多いことがわかります。

設問 11 広報等の配布は、町会長の担い手不足の一因となっていると思いますか。

〈ひとつに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合
1 なっている	60	20.2%
2 なっていない	221	74.4%
記入なし	16	5.4%
	297	100%

図11 広報配布は担い手不足の一因になっているか



◆ 「1 なっている」の理由 〈主なもの〉

- * 月2回は多いと思われる
- * 配布物を配る時間がない
- * 仕分け、配布に労力を要する
- * 町内会の高齢者増加に伴い、広報配布が重荷になっている

◆ 「2 なっていない」の理由 〈主なもの〉

- * 広報の配布を負担とは思わない
- * 広報の配布だけが町会長の負担とは思わない
- * 種々の業務があるなかで、これだけが原因になっているとは思えない
- * 慣例になっている

広報等の配布は、町内会の担い手不足の一因になっていないという回答が7割を超えていました。また、その理由について記載のあったものの中では、「広報の配布は負担になっていないから」という意見が多くを占めていました。

一方で担い手不足の一因になっていると回答した方は2割となっており、その理由について多かったものは「月2回の発行は多い」という意見でした。

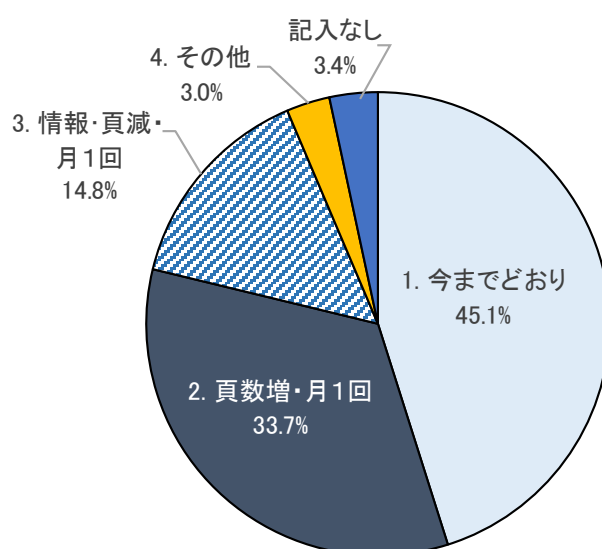
今回の結果は今後の広報等の配布方法に関する検討材料にさせていただきます。

設問 12 広報犬山のページ数と発行回数について、どう思いますか。

〈ひとつに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合
1 今までどおり、月2回がよい	134	45.1%
2 1号あたりのページ数が増えるが、月1回の発行がよい	100	33.7%
3 掲載情報を少なくして1号あたりのページ数を減らし、月1回の発行がよい	44	14.8%
4 その他	9	3.0%
記入なし	10	3.4%
	297	100%

図12 広報ページ数と発行回数について



◆ 「その他」の回答〈主なもの〉

- * 広報は月1回、回覧は今までどおり
- * 月2回で良いが、情報を厳選してページ数を減らす
- * 月1回の発行とし、補てんはホームページへ掲載し、役員の負担を減らす。
- * 町会長を通さずに各家にポストインを行うなら、月2回発行が良い

「発行回数」と「ページ数」の関係については、「今までどおり」という回答が最も多い結果となりました。また、「月1回の発行」にする場合、「ページ数増」と「ページ数減」の比較では「ページ数増」と答えた方が「ページ数減」に比べ2倍以上いるという結果になっています。

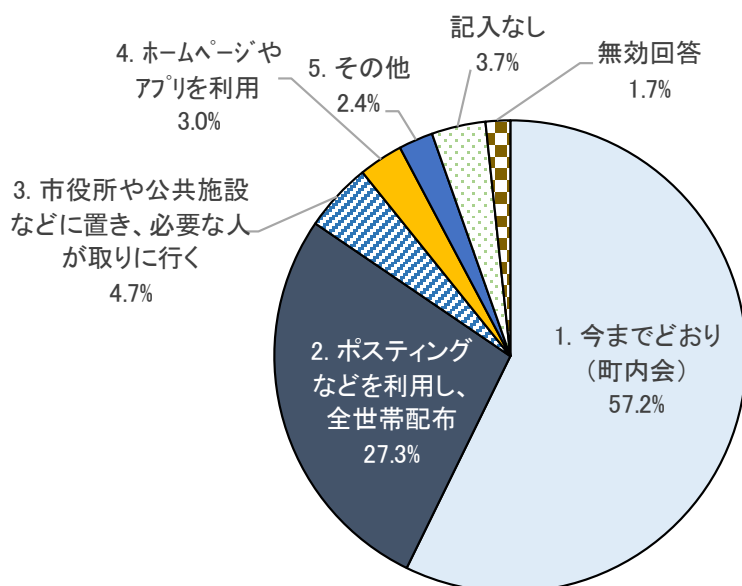
「今までどおり」という回答も含め、広報に掲載する情報量は発行回数に関わらず一定の量が必要とされていると改めて確認できました。

設問 13 今後の広報の配布方法について、どう思いますか。

<ひとつに回答>

選 択 肢	回答数	割 合
1 今までどおり、町内会を通じての配布がよい	170	57.2%
2 ポスティングなどを利用し、市が全世帯に配布するのがよい	81	27.3%
3 市役所や公共施設などに置いて、必要な人が取りに行けばよい	14	4.7%
4 ホームページやアプリで見られるので、紙の広報は必要ない	9	3.0%
5 その他	7	2.4%
記入なし	11	3.7%
無効回答	5	1.7%
	297	100%

図13 広報配布方法について



◆ 「その他」の回答 <主なもの>

- * 町内会を通じての配布がなくなれば班長の仕事が減るので助かるが、配布を通じてコミュニケーション不足が少しでも解消されると思うとどちらとも言えない
- * ホームページやアプリで見られるので、紙の広報は必要ないし、紙の発行は時代にあっていないが、高齢者がそれに対応できないのが考えるべきところ
- * 市役所や公共施設以外でも高齢者などが行くところにも置かせてもらい、必要な人に取りやすくしたらどうですか
- * マンションの住人が高齢化しており、今後、配布作業が負担になってくる可能性があります

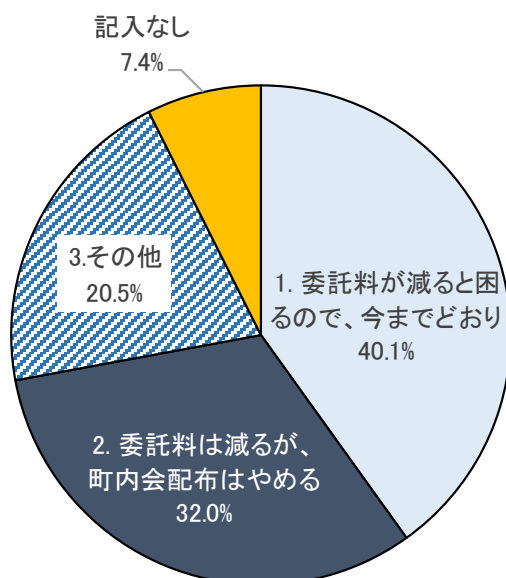
配布方法については、現状の町内会を通じてのままでよいという回答が半数以上となりました。また、その他の意見としては「配布活動が町内会のコミュニケーションを発生させている」という意見が次の設問 14 と合わせて多くあり、配布作業以外の意義を感じられていることがわかりました。

設問 14 今後、広報等がポスティングなどで町内会を通して配布しなくなった場合、委託料の見直しも必要になりますが、どう思いますか。

〈ひとつに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合
1 委託料が減ると困るので、今までどおり、町内会を通じての配布にしてほしい	119	40.1%
2 委託料は少なくなるが、町内会を通じての配布はやめてほしい	95	32.0%
3 その他	61	20.5%
記入なし	22	7.4%
	297	100%

図14 委託料の見直しについて



◆ 「その他」の回答〈主なもの〉

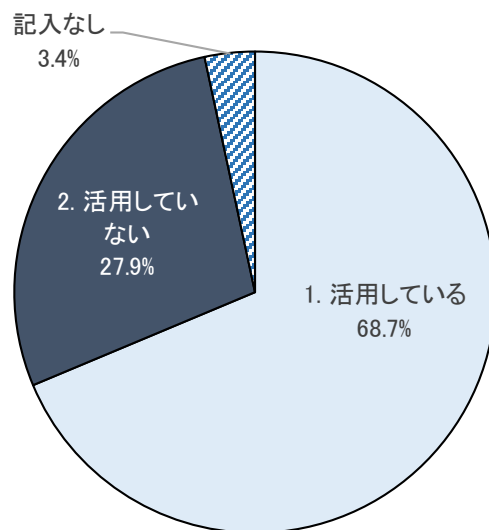
- * 町内会を通さないならば、委託料は少なくなって当然だと思う
- * 増減にかかわらず町内会を通してほしい。配布作業はコミュニケーションになる
- * 委託料に関係なく、町内会を通した配布が良い。ご年配の方が自分で取りに行く等は負担であるだろうし、広報配布が町内会入会の是非にも関わらと思うので、なくすと今後町内会に入る人が少なくなるのではないか？
- * 広報の配布は、町会長だけでなく、地域住民が月2回見守りあっていくために重要なものである。費用のためにポスティングに移行することはもってのほかと考える

「委託料が減ると困るので、今までどおり」が「委託料は減るが、町内会配布はやめる」を少し上回る結果となりました。その他の意見としては「町内会を通じての配布でなくなるならば、委託料の減額は仕方ない」「(1でも2でも) どちらでもよい」といった意見が多くありました。また、広報の配布には町内会のコミュニケーションや見守りなどに役立つとして、「委託料に関係なく町内会配布を続けるべき」という委託料と配布を切り離して考える意見も多くありました。

設問 15 市から依頼しているポスター掲示以外で、広報板を活用していますか。
 〈ひとつに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合
1 活用している	204	68.7%
2 活用していない	83	27.9%
記入なし	10	3.4%
	297	100%

図15 広報板の活用について

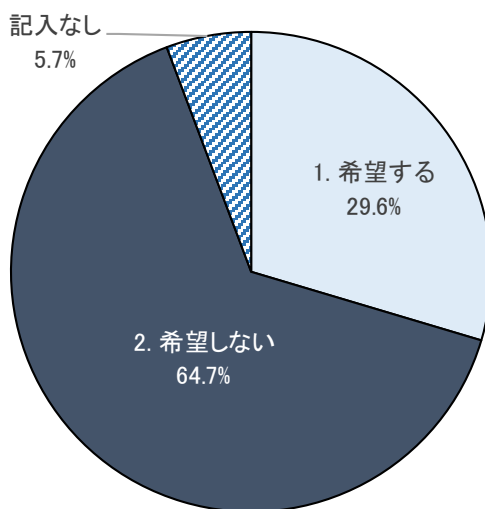


広報板を市からのお知らせ以外でも活用されている町内会が7割近くにのびりました。市から送付しているポスター類以外でも、町内会活動に有益だと判断されるものであれば掲示していただけますのでぜひご活用ください。

設問 16 広報板が廃止となった場合、町内会への移管を希望されますか。
 〈ひとつに回答〉

選 択 肢	回答数	割 合
1 希望する	88	29.6%
2 希望しない	192	64.7%
記入なし	17	5.7%
	297	100%

図16 広報板が廃止になった場合町内への移管を希望するか



広報板の町内会への移管を希望しない町内会が6割以上を占めました。設問 15、16 の結果を参考にさせていただき、今後の広報板のあり方について引き続き検討させていただきます。

設問 17 コミュニティバスについて 皆さんのご意見をお聞かせください。

○便数・路線について（約33%）

- ・運行本数をふやす
- ・目的地へ行きたいのに回り道がある為、時間がかかるので、道路を考えて走らせられないか？
- ・11時の次→13時50分 この間の便がほしいです。
- ・路線を増やして、駅、病院へ短時間で移動できるようにしてほしい。（目的地まで遠回りとなるコースがある）

○運行日について（約15%）

- ・毎日（土・日曜日も）運行
- ・高齢者を含め市民の足として運営されるなら休日も運行させるべきだと考えます。

○バス停について（約11%）

- ・コミュニティバスの停留所が、遠すぎて年よりがそこまでいけないため、どうしても車の移動が多くなる。もっと（バスを）止める所を増やしてほしい。
- ・各町内に1か所の停留所を設置してほしい

○運賃について（約2%）

- ・高齢者に対する無料パスの発行を検討願います。（高齢者運転免許証返納に寄与する）

○コミュニティバスを利用したことがない方からのご意見（約20%）

- ・利用したことがないので、よくわかりませんが、利用者が少なかったり、特定の人に片寄っていたならば、タクシー補助等に切り替えて検討されては？（コストの安い方）
- ・利用したことがないので何とも言えませんが、高齢の方が増えている現状があり、今後もより充実した気軽に利用ができるようにしてもらいたいです。
- ・今のところ利用したことがないが、良い制度だと思います。今後高齢者が増えるので、価値が更に高まると思います。

○その他

- ・福祉目的だけではなく、観光の促進手段として検討しても良いかと思う。観光客の行動範囲を「城下町のみ」から「犬山市全体」へ広げることで、市全体の活性化に繋がり、住みやすい町作りも促進すると思う。（ルートバス機能も兼ねる）
- ・南地区に於いては清水屋前に行っていますが、今後閉店されると買い物と共に行く事がなく不便になる。

一番多くいただいたご意見は、便数の増加や路線の長さに関する内容で全体（123件）の約3割ありました。他にも土日運行してほしいなど、たくさんのご意見をいただきました。

市では令和2年度より、利用者の利便性向上のため、バスの位置や遅延情報がスマホやタブレットなどから把握できるバスロケーションシステムを導入します。また、6か月間定額のお得なパス券の販売も予定しており、バスをより便利にご利用いただけるようになります。

今後も皆さまにとって愛されるコミュニティバスとなるよう、今回のアンケート結果はもちろん、引き続き市民や利用者、関係機関の方々の様々なご意見ご要望をお聞きしながら検討を進めてまいります。